

平成23年度
東北大学 国際高等融合領域研究所 特別セミナー

融合の先に見えたもの
～企業の研究者はこう考える～

プログラム

司会：東北大学国際高等研究教育機構 松浦一雄

14:00-14:10 **大学から見た企業における融合研究のイメージ**
東北大学 国際高等研究教育機構 湊 丈俊

(独)理化学研究所基礎科学特別研究員などを経て、平成19年より東北大学国際高等研究教育機構助教。専門は、表面科学、物理化学による融合研究であり、原子レベルでの機構解明の研究を進めている。

14:10-14:40 **文理融合による企業の技術価値向上プロセス**
(株)国際総合知財ホールディングス 並木幸久 氏

南カリフォルニア大学バイオメディカル電子工学部卒業、同大学大学院バイオメディカル工学科修士卒業兼Alfred Mann Institute研究員、(独)産業技術総合研究所入所、再生医療ベンチャー取締役、ヘルスケアベンチャー取締役社長などを経て、現在(株)国際総合知財ホールディングス代表取締役。アップル社の成功には、デザイン力と技術力の融合が明らかで、この融合プロセスから日本の技術系企業の課題を考えます。

14:40-15:10 **私が体験した融合研究**
(株)神戸製鋼所 伊藤弘高 氏

1974年和歌山県生まれ。秋田大学博士後期課程(工学)を修了後、東北大学金属材料研究所ポスドク研究員を経て、現職(材料研究所表面制御研究室)。現在、ダイヤモンドライクカーボン(DLC)皮膜開発および、DLCを用いたトライボロジーに関する研究に従事している。当日は材料学、物理学、化学等の融合領域であるトライボロジー分野における自身の研究開発活動について紹介する予定である。

15:10-15:40 **宇宙開発を例とした基礎研究と実用化を**
つなぐための融合研究
宇宙航空研究開発機構 岩本雅宣 氏

1971年広島県生まれ。東京大学工学部精密機械工学科修士課程を修了後、宇宙開発事業団(現 宇宙航空研究開発機構(JAXA))入社、現在に至る。宇宙用機構部品の開発及び、DLCの宇宙適用性についての研究に従事。純粋な研究機関ではないJAXAが研究を行う上での問題点と、その解決策としての他機関との融合研究について紹介する。

15:40-15:55 -----休憩-----

プログラム(続き)

司会: 杉本周作(東北大学国際高等研究教育機構)

15:55-16:25 光ファイバのプロセス技術展開と融合研究

古河電工(株) 折田 伸昭 氏

大学では化学工学を専攻し、1991年に入社以来、生産技術開発センターにおいて、主に光ファイバの製造プロセス開発に携わってきました。光ファイバのプロセス技術の展開の中で経験した融合研究について発表します。

16:25-16:55 表面科学からトライボロジーへ

(株)豊田中央研究所 梶田晴司 氏

1998年に国内初の飛び入学制度により高校2年生修了後、千葉大学入学。2007年千葉大学博士課程(理学)卒、2006-2007年(独)理化学研究所表面化学研究室ジュニアリサーチアソシエイト、2007年～豊田中央研究所トライボロジー研究室

クリーンな表面化学現象の理論計算を学生時代に行った後企業に入社し、一見泥臭いトライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑の学問)へと転向しました。学生時代の研究経験が新しく始める研究にどう活かしたか、また入社して分かった企業研究所と大学との相違点など、具体的研究事例を混ぜつつお話ししたいと思います。

16:55-17:05 総括

東北大学 国際高等研究教育機構 竹野貴法

東北大学工学部入学後、修士、日本学術振興会特別研究員(DC1)、2008年博士課程(工学)修了後、現職。主に、導電性を有する固体潤滑材としての炭素系ナノ複合材料の開発に従事している。

参加申込:どなたでも参加できます。特に申し込みなど必要ありませんので、当日会場にお越し下さい。

参加費:無料

平成23年度
東北大学

国際高等融合領域研究所特別セミナー

融合の先に見えたもの

～企業の研究者はこう考える～

主催: 東北大学国際高等融合領域研究所

日時: 平成24年2月10日(金) 14:00より

会場: 学際科学国際高等研究センター

1階大セミナー室

(仙台市青葉区荒巻字青葉6-3)

問合せ先:

980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学国際高等研究教育機構

湊 丈俊・竹野貴法

E-mail: minato@m.tohoku.ac.jp

takeno@wert.ifs.tohoku.ac.jp